

# はまなす

〒098-1601 興部町字興部元町

電話 0158-82-2303 FAX 0158-82-2672

年間主題 「愛し合う元気な仲間（ともだち・自然・動物・資源を大切にしよう）」

\*\*\*\*\*

10月聖句

『愛はすべてを完全に結ぶ帯です。』

(コロサイ信徒への手紙3勝14節) 讃美歌：ラララジョイジョイ

## <巻頭言> 「ちょうちょ」の歌で考えさせられた「バイリンガル」

園長 小山哲夫

9月5日の秋の遠足は、丘の上の「モーモー城」まで歩き、興部の秋を満喫しました。9月に入っても真夏のような暑さが続き熱中症を心配しましたが、暑さが和らぐ秋晴れの遠足日和でした。年齢ごとのコースを歩き、モーモー城に到着して記念写真を撮影しておやつを食べて一休みしました。子ども達はおやつもそこそこに、虫取り網や虫かごを持って秋探し・虫取りを始めました。「何かまえるの?」と聞くと「チョウチョ!」「バッタ!」と草原を走り回っていました。子どもの姿を見ながら、「秋はチョウチョじゃなくてトンボだよなあ〜」と思いながらトンボを探しましたが一匹も見つからず、見つけたのは「チョウチョ」でした。子ども達は「いた!チョウチョ!!」と叫びながら虫取り網を振り回して追いかけていました。「へえ?チョウチョいたんだ!」「トンボはどこいった?」・・・「これも地球温暖化の影響だな〜」と思いながら、近くにいたカエルを捕まえて、遠くに聞こえるキリギリスの鳴き声に耳を澄ますと、直ぐ近くでコオロギの鳴き声が聞こえました。「コオロギがいるよ!」と言うと、子ども達が這いつくばるようになって探し始め、あちこちで捕まえていました。「やっぱり秋が来てるんだ」とホッとして子ども達の様子を見ていると、フツと韓国の孫が歌った「ちょうちょ」の歌が頭に浮かびました。



8月に遊びに来ていた韓国の孫娘(1歳8カ月)が、保育所で覚えた「ちょうちょ」の歌を楽しそうに歌っていました。「♪ナビヤ ♪ナビヤ ♪イリ ナラ ♪オノラ (나비아 나비아 이리 날아 오너라) = (ちょうちょよちょうちょこちらへ飛んできて)・・・」。ほとんど、このフレーズの繰り返しなので、爺まで覚えてしまいました。「ちょうちょ」は日本の童歌!と思い込んでいましたが、孫が全く同じメロディーで歌うので調べてみると、原曲はドイツの古い童謡で「男の子が成長する姿を涙ながらに見守る母親の心情」を歌ったものでした。

日本童歌の歴史を振り返ると、アメリカの音楽教育から学んで、1881年に「ちょうちょ・蛍の光・むすんでひらいて」等を翻訳して「小学唱歌集」に掲載しています。日本と韓国の歌詞がとても似ているのは、1919年に日本が韓国を併合し、言葉・文化の日本化を強いた負の歴史遺産であることが分かり、孫の笑顔を思うと複雑な思いになりました。



母親が日本語で話すことも多いので言葉の成長を心配していましたが、「爺=ジージ=ハラボジ、婆=バーバ=ハルオニ」等、バイリンガルを理解しながら言葉が増えているようです。1歳6か月頃から保育所に通い始め、言葉がごちゃ混ぜで困らないか心配しましたが、すぐ保育所に馴染んで友達・保育士と楽しく過ごし、全く言葉の問題はないようです。



バイリンガルについて調べてみると、「バイリンガルの子どもは、言葉を話し始める前から一つの事物に二つの言い方(二つの言語)があることを理解し、会話環境の豊かさ、親の会話の影響を受けながら二言語の語彙が発達していく」とありました。

娘には、乳幼児の言葉の獲得には、「メディア接触を少なくし、見せっぱなしで子守の代わりに使わない」「笑顔でたくさん話しかける」「子どもの表情・話をしっかり受け止める:共感する」「絵本の読み聞かせを大切にする」等を伝えていました。母が日本語と韓国語、父が韓国語と英語のバイリンガルという環境なので、言葉の成長には気を配り、子育てポイントを大切にしながらゆったりと育てているようです。そんな環境で育った孫は、良く笑い、人も動物(猫)も大好きな子どもに育っているようなので、日本から見守っています。

英語教育が小学校で義務化になり、幼稚園でも、興部町のAET:カール先生が毎月2回幼稚園で「英語であそぼう!」を開催し、楽しく英語と触れ合う機会を提供していただいています。早期教育の為の「CD・DVD・ネット教材」等が注目されていますが、耳と目で覚えてIQ(知力)が伸びてもEQ(心・社会性)は育たず、実際の会話力は身に付きません。

子どもは、人と豊かに関わらなければ「人」から「人間」に成長することができません。他者の心をしっかり受け止める「心の豊かさ」を育てましょう。



< 10月の行事予定 >

3日(木) 鮭の採卵体験 10:00~	17日(木) 避難訓練(防災映画鑑賞) 年長:興部町就学児健診
4日(金) 収穫感謝昼食(全園児) 畑の収穫他で調理	19日(土) 土曜休園
5日(土) 土曜休園	21日(月) あそびんこクラブ 10:00~11:15
6日(日) 乳の里マラソン大会	23日(水) カール先生と英語であそぼう
7日(月) あそびんこクラブ 10:00~11:15	25日(金) 雄武中学校 職場体験
9日(水) 図書館訪問 たんぽぽ 交通安全指導	26日(土) 土曜空園
10日(木) 図書館訪問 ちゅうりっぷ //	30日(水) 10月お誕生会(シチュー)
11日(金) 図書館訪問 ひまわり //	30日(水) ~31日(木) 興部中学2年生 職業体験 興部高校職場体験
12日(土) 土曜休園	31日(木) 月末統計
14日(月) 休園 スポーツの日	
16日(水) 保育参観日(10:30~11:30) 世界食糧DAY 親子体験学習(おにぎりの日)	

<お知らせ>

1、鮭の採卵 10月3日(木) 10:00~

温暖化の影響もあり、近年鮭鱒の漁獲量も減っていますが、今年も沙留漁業組合のご協力により、鮭の採卵受精体験を10/3(木)に実施できるようになりました。当日、採卵体験の様子を参観できます。ご希望の方は時間に合わせて参観してください。週案でもお知らせいたしますので、ご確認ください。



2、収穫感謝昼食会 10月4日(金)

収穫感謝などで収穫した野菜、採卵体験をした鮭等を調理して全園児で昼食を楽しみます。

3、あそびんこクラブ

- ・10月 7日(月) 10:00~11:15 場所:つくし組他
- ・10月21日(月) 10:00~11:15 場所:つくし組他

4、図書館訪問について 公共施設のマナーを身に付ける為に図書館を訪問します。

10/9(水) たんぽぽ 10/10(木) ちゅうりっぷ 10/11(金) ひまわり

訪問した日に園児が本を借りて持ち帰ります。返却期限までに親子で興部町図書館に返却して下さい。



※幼稚園図書コーナー(ホール)にも沢山の良い絵本があります。少しでも絵本に親しんでもらうように、貸し出しをしています。ご希望の方は保育後に園児と一緒に選んでご利用ください。

5、はまなす幼稚園「世界食糧DAY」・保育参観日 10月16日(水) お弁当はいりません

☆世界の食料事情を学びます ビデオで貧困に苦しむ人々の様子から、世界の食糧事情とSDGsの大切さを考えます。

☆昼食はおにぎり(塩だけ)を園児が作って食べます。

☆保育参観日 10:00~11:30(時間内で自由に参観して下さい)

少しでも食べ物に苦しむ人達の心が理解できるように、質素なおにぎり昼食を体験します。



☆世界食糧DAYの募金にご協力下さい。16日に持たせて下さい

毎年、この日のお弁当のおかず代を、食べ物で苦しんでいる人に送金しています。今年も日本国際飢餓対策機構に送金します。日本で1食を節約して募金すると、飢餓に苦しむ国の人々は約一ヶ月間の食事が買えます。できる範囲の募金で結構です。子ども達と相談してご協力下さい。



5、お誕生会について 10月30日(水) シチューを食べます



今月は、幼稚園の畑で収穫した野菜を使った「シチュー」を食べます。

調理・片付けを担当する職員が少ないので、シチューを入れる容器(ふた付き)と、ご飯カパン・デザート・スプーン類も持たせてください。アレルギー他で食べられない場合は、事前に担任まで連絡してください。よろしくお願いします。

以上